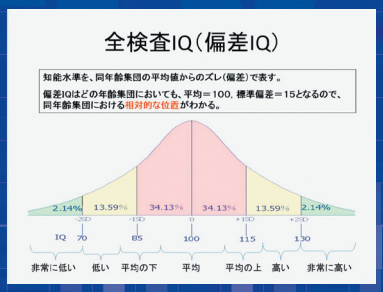
DVD VIDEO

指導・支援につなげるための
解釈のポイント！



商品番号 F8-S［全1巻・87分］

アセスメントの結果を支援に活かす

WISC-Ⅳを中心に

販売価格：6,000円＋税（送料別）

講演者 伊丹昌一
梅花女子大学心理こども学部心理学科教授

※本DVDは、2017年10月に行われたセミナーを収録したものです。

一人ひとりの特性について共通理解を図るために！

新しい学習指導要領の中にも、一人ひとりの児童生徒の障がいの状態や発達の段階に応じた指導や支援を一層充実させていくことが必要であると述べられています。そのためには、診断名だけにとらわれることなく、一人ひとりの実態に合わせた支援が重要です。

このDVDでは、発達障がいのある子どもの困難の状態や発達の段階を的確にとらえるための検査によるアセスメントの概要を説明するとともに、WISC-Ⅳに焦点を当てて、検査によるアセスメントの結果をどのように解釈して支援につなげていくのかを解説します。

このDVDで学んだことを、子どもの実態把握のための1つの引き出しとしてご活用いただければ幸いです。

「気づき」が「支援」の始まり

- 学級の中には、「LD・ADHD・高機能自閉症のような特性」のある子どもたちがかなりいる
- 子どものつまずきや困難さに気づいたなら、何らかの「支援」が必要ということ
- 大切なのは「診断名・障がい名」ではなく、「行動の見方」と「対応の方法」を検討すること
- 一人一人の「特性」について共通理解を図る＝アセスメント

WISC－Ⅳの構成

- **アセスメントを活かすために**
  - ●「気づき」が「支援」のはじまり　●アセスメントで注意すべきこと
  - ●アセスメントから個別の指導計画へ　●教育的アセスメントの目的
  - ●アセスメントを指導・支援に活かすためのプロセス
- **情報収集法としての傾聴**
- **検査法のいろいろ**
- **WISC-Ⅳ**
  - ●概要　●構成　●各下位検査について　●解釈のポイント
- **結果の伝え方**
- **事例検討**
- **おわりに**

結果の伝え方（保護者・担任）

- フィードバックもまた面談である→伝えるより聞く
- まず問題意識を聞く
- 問題意識への答えを所見中から見つけて伝える
- 結果への感想を聞く
- 対応方法への感想を聞く
- すでにやっている適切な対応を支持する
- 障害の覚悟がない保護者に「障害」と言わない
- 決断のタイミングを伝える（言語は12歳までに発達、知的な遅れ、読み書き、行動問題は対応が遅れるほど二次的な問題が発生しやすい）

事例検討で理解を深める！ 検査結果と背景情報をあわせた実態把握から具体的支援へ！

商品詳細・ご注文は通販サイトから… www.japanlaim.co.jp/　サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社　TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14
ジャパンライム F8　検索

【お申込み・お支払い方法】○ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3～6営業日後でお届けします。
○送料は1回につき741円+税。　○到着日指定で「代金引換（手数料無料）」の宅配便でお送りします。　○カード（VISA、MASTER、AMEX、他）もご利用できます（分割も可）。

F8
2017.12